

# 本校の先輩達

出雲市立荘原小学校 2016.01.29

【写真は昭和40年代前半の業間全校ラジオ体操】



# 歴史に刻まれる 本校の先輩達

現在の卒業生名簿は、戦後の学制改革により、斐川村立荘原小学校として新たなスタートを切った昭和22年度卒業生（S23年3月卒業）から始まっています。

それから67年という年月を重ねて、平成26年度卒業生（H27年3月卒業）をもって、7,481人の名前が名簿に刻まれています。この数字は、平成27年12月末の荘原地区の人口7,277人を上回る数となりました。

しかし、荘原小学校が現在地に開校したのは、大正9年7月15日です。この年（T10年3月卒業）以降の卒業生も加えれば、荘原地区の小学校卒業生の数はさらに多くなります。現在学校に残る卒業生名簿によれば、荘原村尋常高等小学校の尋常科修了生が大正9年度（T10年3月卒業）から昭和15年度（S16年3月卒業）の間に2,155人。昭和16年度（S17年3月卒業）から昭和21年度（S22年3月卒業）までの国民学校時代に、757人の名前が刻まれています。

以上の数を合わせてみると、現在地に開校後94年の間に、10,393人の卒業生を送り出したこととなります。加えて、荘原小学校の学校史には、神庭小学校、三絡小学校としての歴史もあります。『開校百年史』に記載された記録によれば、神庭・学頭校の明治8年から大正9年までの本校卒業生の数は、約1,414人、三絡校の明治22年から大正9年までの卒業生が約480人を数えます。これを合わせれば、荘原地区での小学校卒業生は、12,000人を越えるのです。

出雲市立荘原小学校 児童数推移表

